

## 「歩みを進めて」

令和4年度 静岡県公立小中学校事務職員会  
会長 高橋 豊

今年度、静岡県公立小中学校事務職員会会長を務めさせていただく袋井市立袋井中学校統括室長の高橋豊です。会員の皆様の御支援、御協力をいただきながら進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大により、学校内外において、様々な取り組みや行動に制限がかかり、また、ロシアによるウクライナ侵攻による世界経済及び情勢の影響を日本国内においても多方面にわたり受けています。そのような中でも、日々、教育活動は行われ、私たち事務職員も多くの対応に迫られている状況が続いています。事務職員会としては、会員、ひとりひとりが、常に目的意識を持ち、歩みを止めないで、前に進んで取組んでいけるように、支援や連携を図っていきます。

今年度の研究テーマを「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」としました。「専門性を生かして積極的に校務マネジメントに参画することのできる事務職員の育成」及び「校務マネジメントにおける職務上の役割を果たすための研究活動」の実践を通じて、教員が子どもと向き合う時間の確保及び学校におけるマネジメント機能の向上を支援することにより、学校教育目標の具現化、すなわち、児童生徒の豊かな育ちにつながるものと仮定し設定しました。

また、研究の重点を、「人材育成」とし、新たな職務を踏まえ、資質能力と意欲ある事務職員の研修等を通じた育成に一層努めていきます。

研究内容は「事務職員研修計画の実践」と「キャリアデザインの推進」の2点です。事務職員の育成については、各経験段階における資質・能力に係る到達目標の設定や中・長期的な視点に立って主体的に自己を成長させるための研修計画の立案、組織的な研修・指導への支援が必要不可欠であることから、各地区において「経験段階的到達目標」「自己研修計画」を有効活用できるように働きかけを行っていきます。また、共同学校事務室設置に伴う職の見直しや静岡県公立小中義務教育学校キャリアプラン等により事務職員の職階や異職種人事などのキャリアパスが拡大及び多様化しました。これに対応するために、各地区でキャリアデザインの推進に向けての組織的な支援方法等の研究を行っていきます。

さらに、令和2年度から、新たにグランドデザイン策定に向けて活動をしているところです。これまでの「長期活動計画」や「コスモスプラン」からの思いを受け継いだ、新たな静岡県公立小中学校事務職員の全体構想を描くものであり、学校事務・事務職員の将来構想、長期的全体計画として、私たちの「道しるべ」となるように考えています。令和5年度内完成に向けグランドデザイン策定委員会を中心に各地区からの代表の研究推進委員も加わって話し合いが行われています。

おわりに、ひとりひとりが、主体的に事務職員会に関わることで、組織として大きな力となり、推進力が生まれます。事務職員会及び会員の皆様が、前に進み、魅力ある組織及び事務職員として活躍できることを期待します。